

令和2年度第2回 新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

日 時 令和2年8月20日（木） 午前9時30分～

会 場 白根健康福祉センター 3階多目的ホール

<p>午前9時30分 事務局 (片桐補佐)</p>	<p>これより、令和2年度第2回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます、南区健康福祉課課長補佐をしております片桐と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>本日も新型コロナウイルス感染防止のため、皆様からマスク着用や消毒のご協力をいただいております。ご配慮ありがとうございます。暑いですが、室内の換気等を行うため、冷気が薄まることも予想されます。何かとご不便をおかけすることになりますが、感染防止の対策になりますので、何卒お許しをいただきたいと思います。</p> <p>なお、事務局としては、南区の四つの障がい者団体が運営する「わいわいカフェ」を通じてコーヒーのサービスをさせていただきますが、暑さ対策として冷水のペットボトルもご用意しておりますので、水分補給をしていただければと思います。</p> <p>なお、本日の会議は、あとで会議録を作成する関係上、内容を録音させていただきます。</p> <p>本日、長谷川晴美委員、丸井委員からは、所用により欠席の連絡をいただいております。また、泉田委員につきましても、所用により遅れて到着するという連絡を受けております。以上、ご承知おきいただきたいと思ひます。</p> <p>それでは開会にあたりまして、南区健康福祉課の佐藤課長よりごあいさついただくところではありましたが、先ほど、緊急に区内で会議が入りまして、少し遅れて到着するというこゝで、ごあいさつを省略させていただきますと思ひます。</p> <p>続きまして、南区社会福祉協議会の小林事務局長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>南区社会福祉協議会小林事務局長</p>	<p>皆様、改めましておはようございます。南区社会福祉協議会の小林でございます。</p> <p>日ごろから地域福祉の推進並びに社会福祉協議会の事業推進にご理解とご協力をいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>先回も申し上げましたが、この南区地域福祉アクションプランの計画期間が今年度最後ということになっておりまして、本日の議題にもありますけれども、現計画の振り返りを行いながら、次期計画の策定に向け、分野別計画それからそれぞれの地域におきましても、地区別計画について打ち合わせや座談会などを行っていただいておりますこと、大変ありがとうございます。御礼を申し上げます。</p>

<p>事務局 (片桐補佐)</p>	<p>このコロナ禍の中、推進委員の皆様をはじめ、地域の皆様には並々ならぬご尽力をいただきまして、大変厚く御礼申し上げます。今後ともご理解とご協力をお願いしたいと考えております。</p> <p>本日は、ご多用のところ、また暑い中、このようにお集まりいただきまして大変ありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>以上、簡単ではございますが、ごあいさつとさせていただきます。</p> <p>それでは、本日お配りいたしました資料の確認をお願いいたします。事前に配布しております資料でございますが、資料1「平成31年度南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画進行管理表」が表紙を除いて12ページございます。なお、進行管理表にあります平成の表記につきましては、皆様から平成31年3月に審議いただいた時点では平成31年度と表記しておりましたので、そのままの表記にしておりますが、昨年5月に改元がありましたので、平成31年度を令和元年度と読み替えていただければと思います。</p> <p>次に、本日配布資料についてです。本日の会議次第が1部、委員名簿と本日の席次表が両面印刷で1部、資料2「補足資料」が表示を除き裏表で19ページ、資料3-1「分科会開催状況」が1部、資料3-2「分科会概要報告書」が表裏で8ページ、資料4「分野別計画素案第一次修正」が20ページ、資料5「地区別計画策定座談会の様子」が1部。以上となっております。</p> <p>もし、落ち度等ございましたら、予備と交換させていただきますが、いかがでしょうか。揃っていますでしょうか。またお気づきのところがありましたらお申し付けいただきたいと思います。</p> <p>次に進めさせていただきます。</p> <p>次第3、議事についてです。</p> <p>ここからは南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の規程により、田辺委員長から進行、山田ひろ子委員に副委員長役をお願いしたいと思います。田辺委員は委員長席に、山田委員は副委員長席にお座りいただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>皆さん、おはようございます。先回に続きまして、委員長ということで進行させていただきたいと思います。先回も言いましたけれども、南区社会福祉協議会選出の田辺でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>先ほどのあいさつの中では、このアクションプラン、2015年から2020年の6年間の総括が、今回の議題にもありますように、これをや</p>

<p>事務局 (吉田係長)</p>	<p>っていこうと思っておりますし、その取組の報告並びに評価を加えて、前回は引き続き、次期計画の策定を組みながらという話になります。この南区地域福祉アクションプランについては、私どもの福祉の向上のためにこの計画があるわけですが、私ども委員の役割は、これらの計画について意見、評価を入れていくということでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>本日はたくさんの議題が予定されていますが、速やかな議事進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは議事に沿って進めたいと思ひます第1番目の議事でございますが、(1)平成31年度南区地域福祉アクションプラン分野別計画の取組と評価について、事務局から説明してもらいたいと思ひますが、資料1の進行管理表と資料2の補足資料をご覧いただき、ヒアリングしていただければと思ひます。</p> <p>四つの大項目の取組と評価案について聞いていただきたいと思ひます。最初に児童・子育て支援の分野から順に説明をお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。せっかくコーヒーが出ておりますので、飲みながら聞いていただきたいと思ひます。</p> <p>南区健康福祉課児童福祉係の吉田と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>児童・子育て支援の取組の内容についてご説明いたします。資料1ページをお開きください。</p> <p>大項目「安心して子育てできるまち」の小項目の一つ目「子育て世代が孤立しないまちづくり」についてです。</p> <p>取組番号①多様な手法による子育て情報発信の実施内容としましては、健診、育児相談会および保健師や助産師による訪問などの機会を利用して、子育てに関する情報を提供いたしました。こちらはコロナ禍の影響によりまして、3月の健診が中止になったことなどから目標には達していませんが、評価指標によりまして、評価はAとしております。</p> <p>次に、取組番号②子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくりでは、健診や育児相談会、NPプログラム、BPプログラム、子育て広場を開催しまして、同世代の子育て中の親同士の仲間づくりにつながることができました。年度評価については、各事業ともコロナ禍の影響によりまして予定した回数を下回っておりまして、目標に満たなかったため、評価はB及びCとなっております。</p> <p>補足資料の1ページから4ページに、NPプログラム、BPプロ</p>
-----------------------	--

ラム、子育てオーエンジャー☆みなみの資料をつけておりますので、あとでご覧いただければと思っております。

今後の課題等についてですが、コロナによりまして、事業の中止や、家庭の外に出る機会が減っている状況の中、悩みを持つ保護者が安心して相談できる体制づくりが必要であると感じているところです。また、相談につながらない保護者に対してどう対応していくかが課題となっております。参加しやすい事業内容の検討やPRを行っていききたいと考えております。

次に、資料1の2ページをご覧ください。小項目「地域で支えるゆとりを持った子育てができるまち」についてです。

取組番号①子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくりですが、各事業とも、コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止したことから、目標達成には至っておらず、B、A、C、Dという評価となりました。取組番号①の5番目にあります安産教室への父親参加を継続、家族・地域で子育てにつなげるという部分につきましては、目標人数は下回っておりますが、各回約10名の父親参加がありまして、育児への参画の第一歩となっております。育児をしていく中で家族の協力は不可欠となっておりますので、安産教室や健診等を利用して、父親や家族の育児参加の啓発を行ってまいりました。

取組番号④子育て支援リーダー、ボランティアの育成と活動の支援については、新規の子育て支援リーダーを1名増員できたものの、都合によりまして1名退任されておりますので、増減なしとなっております。

今後の課題としましては、現在取り組んでいる子育て支援リーダーによる、子育て広場などの事業を継続して実施していただくだけでなく、保護者の求める情報提供にも対応できるよう、内容の充実を図っていききたいと考えております。

次に、資料1の3ページをご覧ください。小項目「子育て支援施設・事業の充実」についてです。

取組番号①、②については、前のページと重複いたしますので省略いたします。

取組番号③ファミリー・サポート・センターによる子育て世帯への支援、事業PRについては、登録者数は増加しておりますが、提供会員が目標に達しておりませんので、評価はBとしております。

次の④既存の保育サービスの拡充と新たなサービスの検討につきましては、保育園の一斉メールや登降園の記録をとるタイムレコーダー

<p>田辺委員長</p>	<p>の導入について検討を行いました。昨年度中には導入には至っておりませんが、今後、今年度予定している導入につなげていきたいと考えております。</p> <p>取組番号⑦中高生を中心とした思春期教育の推進ですが、白根高校と各中学校で、思春期教育講座を開催いたしました。学校が自ら実施したことなどから、予定回数を下回っております。評価はCとなりました。</p> <p>今後の課題等につきましては、子育て広場の交流会など、事業に参加している保護者への対応は充実してきておりますが、事業にそもそも参加できず、相談する場がなく、一人で悩んでいる方がいなくなるよう、参加しやすい事業内容を検討していきたいと思っております。ファミリー・サポート・センターについては、登録者数は一定数いるものの、利用が少ないという状況です。必要な人に分かりやすく制度内容を伝えていく必要があると考えております。</p> <p>以上で、児童・子育て支援の取組についての説明を終わります。ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (関本係長)</p>	<p>ありがとうございました。ご意見や質疑につきましては最後にまとめて行いますので、分野別に終わりましたら、それぞれ意見等をお聞かせいただければと思っております。</p> <p>続きまして、障がい福祉分野についてお願いいたします。</p> <p>健康福祉課障がい福祉係の関本と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>障がい福祉支援の取組について説明いたします。資料1の4ページをお開きください。</p> <p>小項目「福祉サービス利用の相談体制充実」についてです。課題の相談支援事業者等の周知のための実施内容は、新潟市南区だより及び社会福祉協議会の区社協だよりに、障がい者の相談窓口である障がい者基幹相談支援センター秋葉の利用を周知しました。また、子どものライフステージにかかわる関係機関を対象とした研修会においても、相談窓口の周知を図りました。区だより、区社協だより掲載および相談支援に関する研修会開催については、年度目標各1回に対して各1回実施ということで、評価はAとしております。課題につきましては、どこに相談したらよいか分からないという人が減るように、引き続き周知を図っていきたいと考えております。</p> <p>続きまして5ページをお開きください。小項目「障がいのある人と地域が交流できるまち」についてです。取組の成果としまして、子ど</p>

<p>田辺委員長 事務局 (倉部係長)</p>	<p>ものライフステージにかかわる関係機関を対象とした研修会において、障がいに関する困りごとの相談窓口の周知や、障がい福祉サービス事業所の紹介などの情報発信、情報共有を行いました。また、平成30年度に実施した障がい者の福祉に関するアンケートの結果や、個別支援から見えた一課題である障がい者の移動支援について、ワークショップを3回実施しました。評価としましては、自治協議会に情報発信を行っていませんが、子どもの日常生活の場である学校関係には、研修会を通して情報発信を行いましたので、評価についてはBとしています。それ以外は、目標数値を回数で挙げていましたので、評価はAとしております。</p> <p>課題につきまして、障がい者が地域で生活を送るために必要な移動の方法などについて行事等の参加ができるよう、継続的に地域と情報共有を図っていく必要があると考えております。</p> <p>続きまして、6ページをお開きください。小項目「自立支援体制の充実について」です。地域の課題の解決に向けて話し合える環境整備の推進のための実施内容は、地域の障がい者がかかわる関係機関から構成される南区障がい者地域自立支援協議会を4回開催し、地域課題の解決に向けて取り組みました。また、南区地域福祉ネットワーク会議の運営については、8月に研修会、1月に公開講座を開催し、顔の見える関係づくりに取り組み、大勢の方にご参加をいただきました。</p> <p>もう一つ、子どものライフステージにかかわる関係機関を対象とした障がい児関係機関合同研修会を6月に開催し、顔の見える横のつながり为目标に、課題解決に向けて情報を共有しました。この三つの取組について、目標数値を回数で挙げていましたので、評価をAとしております。</p> <p>今後の課題につきましては、継続して顔の見える関係づくりに取り組み、生活課題の早期発見、早期支援につなげていきたいと考えております。</p> <p>以上、障がい福祉の平成31年度の進行管理の評価の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。続きまして、高齢者福祉・介護支援分野について、お願いしたいと思います。</p> <p>健康福祉課健康増進係の倉部と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>私からは、高齢者福祉・介護者支援の取組についてご説明いたします。</p>
---------------------------------	---

資料1の7ページをお開きください。

小項目「高齢者・介護者を支え合うまちづくり」についてです。小項目における課題は、地域力の弱体化、地域包括支援センターの認知度、介護教室の参加人数の三つです。それに対する取組としまして、平成31年度は、番号①から④の取組を行いましたので、順にその成果についてご説明いたします。

取組番号①緩やかな見守りを行う取組支援についてです。平成31年度は、南区社会福祉協議会でふれあいいきいきネットワーク事業を実施しまして、要望のあった日の出町ふれあいの会に対して支援を行いました。同会では、対象となる高齢者の見守り活動を通じまして、地域で安心して暮らせるまちづくりの一助を担っており、その実績から、ここでの評価はAとしております。そのほかにも、平成30年度に引き続き、助け合いの学校in南区を開催し、40名の方から地域で助け合いの活動を行ううえでの心構えやマナーを学んでいただきました。

次に、取組番号②高齢者・介護者支援体制の周知、地域包括支援センター・介護教室についてです。こちらの取組としましては、毎月1回、区役所だより「みなみ風」に、センターに関する連載記事を掲載しまして、各種の情報発信を行うことで認知度の向上に努めております。併せてセンター職員も、地域の茶の間に直接足を運びまして、茶の間参加者に対して、地域包括支援センターの役割について説明を行う等を行っております。このほか、区内のスーパーで高齢者出張相談会を開催するなど、取組も行っております。そうした取組を評価しまして、Aとしております。

続いて、取組番号③介護教室の受託事業所の開拓についてです。こちらについては、最初にお断りさせていただきますが、平成31年度は当初8回の教室開催を企画し、区役所だよりでも各回開催の広報を行っていましたが、3月26日に味方地区で開催を予定していました教室につきましては、新型コロナウイルスの影響により、やむなく中止させていただきました。そのため、平成30年度との比較では、実施回数が1回減となっています。参加者の総数も158名で、平成30年度の192名との比較で減となっています。

ですがこれらの減につきましては、新型コロナウイルスの影響によるものであることや、年度の目標数値であります3か所の継続についても、区内三つの日常生活圏域である臼井・白根北圏域、白南・白根第一圏域、味方・月瀉圏域の各圏域で教室を開催できたことを評価しましてAとしております。

補足資料の5ページから6ページをご覧ください。

平成31年度に、白南・白根第一圏域で開催されました2回の介護教室の案内チラシです。白南・白根第一圏域では、昨年度、介護のより実践的な内容の教室を開催しています。詳しい内容は資料をご覧ください。

最後に、取組番号④区・圏域ケア会議を利用したネットワークの支援についてです。平成31年度は、区内三つの日常生活圏域で合計7回、また、個別の事案に対して計8回のケア会議を開催しています。年度の目標数値は、区域が2回、各圏域が1回となっていますが、この目標では個別の事例に対して迅速な対応が難しいといった問題がありました。そのために、そうした状況を考慮し、区域での開催は行わず、替わって、個別の事案に対する会議を多数開催しています。このことによりまして、ケア会議開催の意義が今まで以上に向上し、地域の課題に対してよりきめ細やかな対応ができたものと評価できることから、Aと評価しています。

以上、四つの取組内容に対する評価は、すべてA評価とさせていただきます。

こうした結果を踏まえまして、今後の課題についてですが、二つあげさせていただきました。一つは、地域力強化の取組について、具体的な成果がなかなか見えにくいということ、もう一つは介護教室の参加人数を増やす取組について、介護者向け・一般向け、それぞれのニーズがどの辺りにあるのか的確に把握する必要があるということです。令和2年度はこれらの課題を十分に意識した中で取組を進めていきたいと考えています。

続きまして、資料1の8ページをご覧ください。

小項目「高齢者の健康づくり・介護予防の推進」という項目に対する活動になります。これにつきましては課題が二つありまして、一つ目は、生活習慣病の予防と早期発見につながる特定健診の高齢者層の受診率、また、後期高齢者健診、各種がん検診の受診率が低い状況にあるということ。二つ目は、飲酒・喫煙率が高く、運動習慣のある人が少なく、このままでは生活習慣病の発症が危惧される状況にあるということです。

これに関する取り組みにつきましては、①高齢者の健康づくりと介護予防の推進のため、各地区での健康づくり講座を支援するフォロー講座を実施しました。

補足資料の7ページから8ページをお開きください。内容は、ウオ

ーキング講座です。白根健康福祉センターで実施しまして、目標の2回を実施しましたので、年度評価はAとしておりますが、チラシでご確認いただけますように3回実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受けまして3回目を中止し、2回の実施となっております。

続いて、補足資料の9ページから10ページをご覧ください。チラシを添付させていただいておりますが、健診を受けやすくするために、南区ではミニドック型集団健診を実施しております。これにより特定健診の受診率は増加してきておりますが、目標値までは達しておらず、令和2年5月末までの区に入ってきている受診者数では、2,947人と目標値の73パーセントの達成状況でした。そのため、年度評価はBとしております。

続いて、健康づくりの取組についてです。南区では、糖尿病・高血圧の診療費が比較的高く、区民の健康寿命を延ばす取組として、健康づくりに関心を持ってもらえるよう、さまざまな取組を行い、成果につながっているところでございます。補足資料は11ページから12ページをご覧ください。

取組番号①の「はかろう体重！あるこう南区！大作戦」では、平成30年度に取り組みやすいように、歩数でもカード提出ができるように追加修正し、事業PRをコミュニティ協議会と一緒に実施し、目標を上回るカード配布となりました。

取組番号②につきましては、主に保健会で取り組んでいる健康づくり講演会です。これは、地区の状況に合わせて、健康づくり全般についてお話しするものとなっています。各地区で13回実施しています。

補足資料の13ページをお開きください。こちらにも保健会で取り組んでいるものになりますけれども、先ほどの健康づくり講演会のほかに、各地区では、このような体を動かすことを主にした講座を、元気アップ講座として13回開催しています。年度計画どおりに進めておりますので、評価はA評価とさせていただきました。

今後の課題につきましては、健康に対する意識を高め、健診受診率がさらに向上するようにPRが必要となっております。

資料1の9ページをご覧ください。小項目「認知症の予防と対策」についてです。小項目における課題は、「認知症高齢者の増加」、「認知症の理解」の二つです。以下、それに対する取組についてご説明させていただきます。

取組番号①認知症予防出前講座についてです。認知症予防出前講座

とは、認知症予防の研修を受けた運動普及推進員が、地域の茶の間等を訪問し、認知症予防効果のある運動や脳トレ等を実施するものとなっています。年度目標の12回に対し、13回実施しましたので、評価はA評価といたしました。

次に、取組番号②認知症サポーター養成講座、キャラバンメイトのネットワークづくり、認知症カフェの開催について、順にご説明いたします。補足資料の14ページから15ページをご覧ください。

認知症サポーター養成講座について。平成31年度は15件の申請があり、自治会や地域の茶の間などで開催しています。その周知につきましては、区役所だよりに2回開催案内を掲載しています。区役所だよりにほかに「認知症のはなし」と題する記事も掲載し、認知症に関する基礎的な知識の周知・啓発を行いました。それらの取組を総合的に判断し、評価はAとしております。

次に、キャラバンメイトのネットワークづくりについてですが、平成31年度は連絡会を開催しませんでしたので、評価はDといたしました。

南区のキャラバンメイト連絡会は平成21年度に設立され、途中、平成23年度から平成26年度に活動を休止していますが、平成27年度に、当時の健康福祉課高齢介護係を仮の事務局としまして活動を再開した経緯がございます。再開した当時は、いずれ事務局機能をキャラバンメイトの構成員の方に担っていただくことを想定し再開していましたが、事務局機能の移行が行えないまま、仮の事務局の体制が続いてきていました。そのため平成31年度は、今後の連絡会のあり方について見直す方向で検討を行い、その結果、今後の課題等にも記載いたしましたが、今年度、本市の認知症サポーターキャラバンの事務局業務が外部委託されることに合わせ、この3月末で連絡会は解散することといたしました。昨年度連絡会を開催しなかったのはそうした事情によるものですので、D評価ではありますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

続いて、認知症カフェの開催についてですが、こちらも新型コロナウイルスの影響により3月開催は中止となっていますが、それ以外の月は毎月第4土曜日にこちらの白根健康福祉センターを会場に開催しましたので、目標の12回に対し11回の開催実績となりました。地域包括支援センターやボランティアグループの方々から、認知症のミニ講座や予防のための体操、茶話会などの各種取組を行っていただきましたので、評価をAとさせていただきました。

<p>田辺委員長 事務局 (南区社協漆原)</p>	<p>最後に、今後の課題についてですが、先ほども申しあげましたように、南区のキャラバンメイト連絡会が解散したことに伴う今後の事務やノウハウの継承をどのように行っていくかがあります。また、今後さらに認知症高齢者数の増加が予想されることから、今まで以上に認知症に関する正しい知識の普及、啓発に取り組む必要があります。そのためには関係機関との連携が欠かせないため、関係機関同士によるネットワーク構築を進めてまいりたいと思います。</p> <p>以上で高齢福祉・介護者支援の分野の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。最後の大項目になります。地域づくり分野について、お願いいたします。</p> <p>南区社会福祉協議会の漆原です。よろしくお願いいたします。</p> <p>取組番号①としまして、研修会や講座などの機会にボランティア登録団体に向けてボランティアルームの利用を促す情報提供を随時行ってまいりました。よって評価についてはAといたしました。</p> <p>次に、取組番号②ボランティア情報の発行ですが、年2回の目標に対し、同じく年2回発行いたしました。内容は、研修や交流会の案内やその報告、小学校での福祉教育について、また助成金の案内など、活動を促進するための情報を掲載するとともに、ボランティア・市民活動センターの取組を広く広報することでボランティア活動の啓発に成果がありました。よって評価についてはAといたしました。</p> <p>広報については、補足資料の16ページから19ページに広報紙を添付させていただきました。印刷が小さくて読みにくいかもしれませんが、ご参照ください。</p> <p>次に、取組番号③ボランティアの交流会開催による情報集約、連携体制構築についてです。年2回の目標に対し、白根公民館と共催で中学生交流会を1回、また登録ボランティアほかサロン、元気力アップサポーターなどの市民活動を行う方々との合同交流会を1回開催しました。合同交流会では、ボランティアから3団体、サロンからは2団体に活動発表をしていただいたことで、活動者同士の情報共有や連携体制の構築などの成果がありました。よって評価についてはAといたしました。</p> <p>次に、取組番号④講座・研修会の中での紹介については、年4回の目標に対し3回の開催となりました。ボランティア講座では障がい者理解を促進する内容、研修では防災を学ぶバス視察研修や、ボランティア受入施設研修を実施いたしました。しかし、目標回数に達しなかったために、評価についてはBといたしました。</p>
-----------------------------------	--

次に、取組番号⑤区内小中学校の総合学習の時間を利用した福祉教育の推進・企業向け福祉教育については、3回開催いたしました。これにより、子どもの福祉への関心を量的にも深めることができました。また、大人向けの福祉教育として、ボランティアと防災について、企業や自治会に向けてそれぞれ講話を行うことで、福祉・ボランティア・防災への理解を得ることができました。よって評価についてはAといたしました。

最後に、取組番号⑥災害ボランティアセンター設置訓練開催、同じく検討委員会開催については、訓練は1回、検討委員会は6回の目標に対し、訓練1回、検討委員会を5回開催いたしました。災害ボランティアセンターを設置するか否かの判断から行う訓練を実施し、運営側のスキルアップを図りました。訓練開催月と同月の運営委員会の開催を取りやめたことで目標回数には及ばなかったことから、評価についてはBといたしました。

それぞれの取組と成果については以上ですが、今後の課題等について報告させていただきます。新たなボランティア活動者を増やすための強力な特効薬というものはなく、情報収集や活動の呼びかけを途切れなく続けていくことという地道な取組が大事だと思っております。

一方で、現在活動しているボランティア団体が存続していくための施策も必要と考え、活動を下支えする助成金の申請を積極的に働きかけていきたいと考えております。また、ボランティア活動の場を広げるために、ボランティアをしてもらう側のボランティアへの理解と、受援力を高める取組を進めたいと考えております。

災害ボランティアセンターについては、感染症対策を含め運営側のスキルアップを図るとともに、センター機能について区民への周知をする機会を作りたいと考えております。また、ボランティアセンターが行う福祉教育や講座、研修会など、支え合いのしくみづくりの取組と連携し、コミュニティ・ソーシャルワーカーとも協働して、多世代にわたる支え合いの意識の醸成を図りたいと考えております。

以上でボランティア関連の説明を終わります。

引き続きまして、地域の茶の間ふれあいいきいきサロン活動の支援についてです。資料1の11ページをお開きください。

取組番号①および②、各種講座やサロン交流会及び研修会の実施については、交流会を12月に開催し、ほかの茶の間の取組など情報交換ができました。交流会については3月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となりました。よって年

<p>事務局 (星野係長)</p>	<p>度評価をCといたしました。</p> <p>次に取組番号②男性を対象にした交流会の開催ですが、年2回の目標としておりましたところ、こちらも新型コロナウイルス感染症拡大防止ということで未実施となりました。よって評価をDといたしました。</p> <p>次に取組番号③南区サロン・お茶の間マップを年1回掲載およびサロン活動内容の広報については、南区社協だよりに掲載し、身近にある地域の茶の間について周知することができました。また、各お茶の間の会場に冊子を設置し、随時内容の更新について、各お茶の間にご協力いただき更新することができましたので、A評価といたしました。</p> <p>取組番号④地域に合った茶の間づくり支援については、新規で3件ありましたのでA評価といたしました。</p> <p>取組番号⑤世代間交流会の開催についてですが、交流会等を利用して呼びかけをしておりますが、新規で実施する地域はありませんでした。よって評価はCといたしました。</p> <p>それぞれの取組と成果については以上ですが、今後の課題として、身近な人たちが集まる地域の茶の間において、住民の生活課題などを発見できるようにアンテナをはり、関係機関と連携した支援へとつなげていきたいと考えています。また、新型コロナウイルス感染症の関係で実施できない活動が多くあったことから、評価が低くなっております。今後は、現状を見ながら、できる範囲で感染防止に努めつつ実施できればと考えております。</p> <p>以上で地域の茶の間のいきいきサロン関連の説明を終わらせていただきます。</p> <p>引き続き、地域づくり分野のお話です。健康福祉課の星野です。よろしく願いいたします。</p> <p>この分野に掲げた取組は、主に地域総務課で業務を行っているものとなります。</p> <p>資料1の12ページをお開きください。避難行動要支援者支援体制の充実について説明いたします。</p> <p>取組番号①各自主防災会で防災訓練における要支援者支援訓練の実施ですが、各自主防災組織の訓練実施率を取組の指標としております。目標の年80パーセントに対して、結果は39パーセントということで、取組評価はCとなります。自主防災会、これはコミュニティ協議会単位を含みますが、全23団体中9団体で支援訓練が実施され、昨年度より1団体増えておりますが、取組は加速する必要があるかと思えます。</p>
-----------------------	---

	<p>制度にご理解いただけるように、制度周知を継続しつつ支援訓練の実施についての働きかけを強化していきたいと思えます。</p> <p>同じく取組番号①支援者名簿と避難行動要支援者登録対象者の確認ですが、対象者の確認を全自治会に要請することを目標としております。こちらにつきましては、要支援者名簿を送付する際に全団体に対して実施しましたので、取組評価はAとなりました。</p> <p>同じく取組番号①地域の避難行動要支援者登録対象者への意識付けですが、自治会長の研修会で年1回の制度周知を行う目標としておりました。4月6日に実施しましたので、評価についてはAとなりました。</p> <p>取組番号②高校生防災ボランティア育成研修会の開催ですが、白根高校の生徒さんに対し年2回行う目標に対して、1、2年生を対象に1回、3年生を対象に1回と計2回実施いたしましたので、取組評価はAとなりました。近隣の自治会、自主防災会、防災士の方々にもご参加いただきながら実施しております。白根高校の防災ボランティア講座については、高校生が災害時にできることや助け合いの精神を学ぶ機会として、引き続き実施していきたいと思えます</p> <p>以上が4つの取り組みについての実績となります。今年度は取組が停滞している避難行動要支援者制度について力を入れていかなければならないと思っており、支援者側への働きかけ強化を行うことにより、制度の普及と浸透に努めてまいります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>どうもありがとうございました。各分野の小項目ごとに取組内容、効果、課題、評価等が報告されました。</p> <p>皆様から何かご意見やご質問があれば、議事録を作成しておりますので、挙手をしてからお名前を述べていただいております。忌憚のない意見、ご質問をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
田辺委員長	<p>小林さん、なにかありますか。</p>
小林委員	<p>大丈夫です。</p>
田辺委員長	<p>ないようであれば、よろしいでしょうか。</p> <p>議題（2）にいききたいと思えますが、時間の関係上、（1）につきましてはこれで終わりたいと思えます。最後に、思いついたときに、何か聞きたいことがあればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>議事の（2）分科会開催状況についてです。事務局から説明をお願い</p>

<p>事務局 (星野係長)</p>	<p>いたします。</p> <p>地域福祉担当星野です。</p> <p>資料3-1をご覧ください。これは、第1回目の分科会の開催状況の一覧です。7月6日の高齢、介護、健康づくりの分野から始まり、7月7日には地域づくり分野、7月13日に児童子育て支援分野、7月16日に障がい者福祉・自立支援分科会が開催されましたことをご報告いたします。</p> <p>各分科会についてですが、共通で、現状について質疑等があり、今後の課題や素案に対する意見も出ました。また、児童子育て支援分野および地域づくりの分科会では、素案を修正した方がよいのではないかとというご意見も出ましたので、併せて本日ご審議をお願いすることになります。</p> <p>なお、4つの分科会とも第2回目は開催せず、以後は文書審議でよいのではないかとというご意見でしたので、当初予定していました第2回の分科会開催は行わないことになりました。</p> <p>本日は、それぞれの分科会ごとに資料3-2を基に開催概要を報告させていただき、一部の分科会では修正が入りましたので、資料4「分野別計画素案第一次修正」についても併せて説明をさせていただきますので、なにとぞご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>資料3-2に基づきまして、児童子育て分野から順次事務局から報告をしていただきたいと思います。素案に修正がある場合は、第一次修正案も併せて説明ください。</p> <p>なお、報告をすべて聞いたあとに質疑や意見等をいただきたいと思います。それでは児童子育て支援分野から説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局 (吉田係長)</p>	<p>児童子育て支援分科会についてご報告させていただきます。</p> <p>資料3-2の1ページをお開きください。</p> <p>児童福祉・子育て支援分科会で小項目が三つございますが、一番目の小項目①妊娠期からの切れ目ない支援についてです。意見等といたしまして、表に出て来れない方がいる、いかに表に出て来れるようにするかが難しいというご意見。食事会や愚痴話をする会ということで、気軽に参加しやすいような工夫をしている。核家族でつながりがなく孤独になりやすい。子どもが幼稚園くらいになると同居をやめてしまう傾向があるですとか、BPプログラム、ベビープログラムという初めてのお子さんを持つお母さんが参加されるプログラムなのですが、こういったものについても1回だけ参加して途中でやめてしまう方も</p>

<p>事務局 (関本係長)</p>	<p>いらっしゃるといようなご意見。子育て応援パンフレット「スキップ」というものがあります。冊子なのですけれども、こちらの使い方が分からないといようなご意見をいただきました。</p> <p>素案の修正点につきましては、資料4の1ページをご覧いただきたいのですが、こちらの小項目、各項目の下に主な取組内容を記載するように変更しておりますが、当初、妊娠・子育てネットワークによる支援というものがこの項目に入っておりましたが、そこを削除させていただいております。理由としましては、訪問、相談支援事業の強化に含まれるであろうということで、そこを削除させていただきました。</p> <p>次の小項目②地域で支えるゆとりある子育てへの支援についてです。ご意見としては、子育て広場は区づくり予算がなくなった場合、どのようにして続けていくかに課題がある。素案中「三世代家族が減少し」というのはずいぶん前から言われていて、今後6年間使用するに耐えられるのかといようなご意見をいただきました。</p> <p>それに伴いまして、素案の修正につきましては資料4の2ページをご覧いただきたいのですが、文言を一部修正させていただいております。現状と課題の欄、最初は「三世代家族が減少し」として作成しておりましたが、核家族化に加えまして、地域の関係性が希薄になっているといような表記にさせていただいております。取組の方向性につきましても、一部、文言の修正をさせていただきました。</p> <p>続きまして、小項目③子育て支援施設の充実についてです。ご意見としまして、児童館は学校との連携が少ないのではないかと、地域教育コーディネーターとかかわっていけるとよいのではないかとご意見と、児童館のニーズを利用している子どもたちに、直接聞いてみてはどうなのかといようなご意見をいただいております。素案の修正については、こちらの項目は修正しておりません。</p> <p>以上、児童福祉子育て支援分科会のご報告をさせていただきました。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、障がい者福祉・自立支援分科会からご報告させていただきます</p> <p>資料3-2の3ページをお開きください。分野別計画案に対する意見や修正について、小項目は大きく分けて三つあります。</p> <p>まず一つ目、①福祉サービス利用の相談体制充実に関しての意見としまして、相談窓口の周知方法について、行政や社会福祉協議会の窓口以外にも多様な周知方法に取り組む必要があるのではないかと</p>
-----------------------	--

	<p>ご意見をいただきました。このことにつきましては、資料4の5ページ、取組施策の方向性の5行目、「関係する専門機関が情報を共有」という表現に含まれているということでご理解をいただき、素案修正なしとしております。</p> <p>小項目二つ目、②障がいのある人と地域との交流に関しての意見としましては、ボランティア団体の育成、連携も含めてはどうか。近所の目に見える人を対象にした講座も必要ではないか。学校教育との連携という視点も必要ではないかといった意見をいただきました。</p> <p>ボランティア団体関連は、資料4の15ページ、地域のボランティアや福祉活動の情報発信と活動支援の中でまとめて記載しているということ、講座に関しては、どうしても地域で参加する人が決まってくるという現状を訴える委員もおりましたので、実施に向けての課題を受け止め、進めていきたいと思っております。学校教育との連携という視点に関しては、南区の自立支援協議会で、毎年、子どもが関係する機関である学校関係者を集めて研修会を行っていますが、そのような場で情報共有を図っていくということでご理解をいただき、素案修正なしとしております。</p> <p>4ページ、小項目三つ目、③自立支援体制の充実に関しての意見としまして、アグリパークの農福連携事業は、福祉作業所の方が生き生きと取り組んでいてよい事業である。農業部門の予算が縮小しているように感じるので、予算面でも農福連携し継続してほしい。併せて、予算に左右されない支援体制を考えなければならない。南区の生活困窮者数が思いのほか少ない。隠れているように感じるといったご意見をいただきました。</p> <p>アグリパークの事業としましては、予算面に関しては市全体ということになるので非常に難しいですけれども、現在も事業は継続しているということで、生活困窮者に関しましては、件数としては南区は大きな変動はない。行政、社会福祉協議会、パーソナル・サポート・センターは連携し、食料支援を行っているといった意見が交わされまして、結果、素案修正なしということで、分科会は終了しております。</p> <p>報告は以上です。</p> <p>ありがとうございます。障がい者福祉・自立支援分科会について、何かご質問、ご意見がございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>ないようであれば、次の高齢者福祉・介護者支援・健康づくり分科会について、よろしくお願いたします。</p>
田辺委員長	
事務局	南区健康福祉課高齢介護担当の係長、高橋と申します。高齢者福祉・

<p>(高橋係長)</p>	<p>介護者支援・健康づくり分科会の概要に関して報告させていただきます。</p> <p>当分科会におきましては、委員の皆様、事務局のほかにオブザーバーということで地域包括支援センターしろね南の栗田センター長からも参加いただいております。</p> <p>内容ですけれども、小項目①高齢者・介護者を見守り支えあうしくみづくりということで、多数の意見が出ております。紹介させていただきます。地域包括支援センターの存在はありがたいが、一般の方に認知されていないので、地道な周知が必要なのではないか。高齢者の安心にはいろいろな部署の連携が必要で、まだここが不十分である。住民が地域でかかわる部分のすみ分けが分からない、地域で利用可能な情報の整理が必要。地域包括支援センター、民生委員、地域の連携が大事。お助け隊、これは小林地区ですが、これをやると関係者間での情報共有がしやすくなる。認知症は、受け取る家族の体制も重要。どのように家族にかかわるかが課題、気づくことも大事。社会福祉協議会の安心箱の取組は緊急時の連絡先が分かってよかった。認知症にかかわろうとする人がいるということが伝わっていない。認知症が進んでいたことを家族が気づかないケースがある。このように多数の意見を出していただきました。</p> <p>修正に関しましては、素案に特段の問題はないというご意見をいただきましたので、素案の修正はなしとさせていただきます。</p> <p>続きまして、小項目②認知症対策と在宅医療に対する理解の促進についてです。いただきました意見をご紹介します。認知症は度合いによって在宅が困難なケースがある、実際、家で見るには非常に困難。在宅医療や訪問医療機関が足りない、施設の空き待ちが実情。在宅医療、訪問医療どちらもありが理想だが、バランスがとれていない。認知症や地域でもかかわる方針になっているが、地域に知られたくない事情や個人情報扱いがあり、難しい面がある。こちらにつきましても、多数の意見を出していただいております。</p> <p>ただ、修正に関しましては、こちらも素案、原案どおりで特段問題ないというご意見を頂戴いたしましたので、修正はいたしておりません。</p> <p>最後に、小項目③健康寿命の延伸となります。こちらにつきましては、委員の方々から、保健会に対して何を期待するのが必要。保健会のような組織は大切、あらゆる組織が連携することが大事。保健会が何をしているのかよく分からない人もいます。保健会が頑張っている</p>
---------------	--

<p>田辺委員長</p>	<p>のでも応援するという形がよい。食生活改善推進委員の勉強会など積み重ねが必要、積み重ねているだけでも大切といった意見が寄せられております。</p> <p>ここに関しまして、特に保健会に関する意見が多数出されておまして、委員の方からは、保健会の在り方、取組の内容について、もう少し具体的に素案に反映させたほうがいいのではないかとといったような意見が出ましたが、最終的には、修正意見なしという形でまとめさせていただきます。</p> <p>以上、高齢者福祉・介護者支援・健康づくり分科会の概要について報告を終わります。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。今の分科会につきまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いしたいと思います。ありませんか。</p> <p>ないようであれば、次の地域づくり分科会の報告をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (星野係長)</p>	<p>続きまして、地域づくり分科会からご報告させていただきます。</p> <p>資料3-2、7ページをご覧ください。①地域のボランティアや福祉活動の情報発信と活動支援。主な意見としましては、取組の方向性は箇条書きの方がわかりやすいのではないかと。主だったボランティア団体、種類ということになるのでしょうかけれども、ボランティア団体が分かるとよい。災害ボランティアを育成したあとの生かし方について各自治会の自主防災会に指導に行くなど、発展できるとよい。</p> <p>素案の修正としましては、資料4の15ページから16ページです。全分野に共通することになりますが、取組の内容を小項目ごとに表示することにしました。主だったボランティアの団体(種類)を、16ページに表にいたしまして表示することにいたしました。そのほか、字句を、事務局内部で見直しをさせていただきました。</p> <p>続きまして、②地域の茶の間・ふれあい生き生きサロン活動の支援。主な意見として、茶の間の助成金の申請が簡素化されるとよい。ぐるりん号を、中央だけでなく北部や南部に走らせたらかどうか。区バスは便が悪くて使いづらい。福祉バスの利用を茶の間にも広げられるとよい。茶の間まで歩けない人をどうやって集めるかに課題がある。南区に歩いて行ける茶の間が少ない。道路も危険な箇所があり、茶の間の運営や、動きやすい交通手段を支援するなどを素案に含めるべき。</p> <p>素案の修正といたしまして、資料4の17ページをご覧ください。移動に関する文言を追加しております。そのほか、文言を修正させていただきます。</p>

田辺委員長	<p>続きまして、③個別・地域課題の解決に向けた取組。主な意見としては、ひきこもりについては、民生委員活動の中で相談先がなく見守るしかないケースがある。人口の約 1.2 パーセントにひきこもりがいる、数の実態把握をしたほうがよい。ひきこもっている家への訪問は拒否されることがある。高齢者で一人暮らしのひきこもりがあり、どこかで常に見守る必要がある、ひきこもりについて、民生委員向けの講座があるとよい。何の移動支援の検討かわからない。用語解説に C S W を加え、C S W を P R した方がよい。</p> <p>素案の修正といたしましては、資料 4 の 18 ページをご覧ください。下段の主な取り組み内容に、前回の資料では「移動支援の検討」となっていたのですけれども、この部分に「買い物など」という字句を足して表示しております。そのほか、細かなところの文言の見直しをさせていただきました。</p> <p>同じく資料 4 の 19 ページをご覧くださいたいのですが、用語解説があるのですけれども、ここに C S W の解説を加えました。</p> <p>続きまして④避難行動要支援者に対する支援の充実。主な意見として、要支援者名簿に登録しても、避難所にいるのが難しい方や食物アレルギーなどは一般の人と同じにできない、細かいところまで考える必要がある。要支援者名簿自体が自治会任せ。自治会役員が交替し、名簿の要支援者名簿の活用がされていない。防災訓練はしてはいるが、要支援者名簿を活用できていない。素案の文書が現計画と同じで、進歩がない印象を受ける。</p> <p>素案修正といたしましては、資料 4 の 20 ページをご覧ください。所管課であります地域総務課と協議いたしまして、文書の一部を見直しをさせていただきました。</p> <p>以上で、すべての分科会の概要報告および素案の第一次修正についての説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。これにつきまして、どの分科会からでも結構でございますが、何かご意見、ご質問がございましたらお願いしたいと思います。いいでしょうか。</p> <p>・・・（質疑意見なし）・・・</p> <p>次回の会議は 9 月下旬が予定ということですので、その時は分野別計画の素案や地区別計画修正点について、追加報告があると思います。</p> <p>次の議題（3）地域福祉活動計画（地区別計画）策定の開催状況について、事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
-------	---

<p>事務局 (南区社協横山 補佐)</p>	<p>南区社会福祉協議会の横山と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>(3) 地域福祉活動計画策定の開催状況についてでございますけれども、各地区選出のアクションプラン推進委員の皆様からご協力いただきまして、各地区ごとにコミュニティ協議会会長や地区社会福祉協議会会長と、今後の予定について順次打ち合わせをさせていただいているところでございます。現在調整中のところもございしますが、逐次、進めていきたいと思っております。</p> <p>現在、座談会が終わったところにつきましては、大通地区が7月29日に開催を終えております。こちらですが、資料5をご覧いただきたいと思えます。</p> <p>大通地区の様子ということで、参考に本日お配りさせていただいております。大通地区につきましては事務局も含めて12名参加ということですが、大通地区につきましては、事前に1回目、自治会長と民生委員との懇談会を開いていただいて、皆さんの意見も持ち寄っていただいて、ワークショップという形で開催させていただきました。このような様子でというところでございます。</p> <p>そのほか順次、明日大郷地区で行われますし、次の週は月潟地区、小林地区ということで、順次開催する予定となっております。コロナ禍の中での開催ということになりますので、人数の制限があったりということで、大変ですが皆様からご協力をいただきながら進めていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>報告は以上になります。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>ありがとうございました。何かご質問がございましたらお願いしたいと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p>次に次第4、報告及び連絡事項になります。事務局からお願いします。</p>
<p>事務局 (星野係長)</p>	<p>そのほかの報告をさせていただきます。</p> <p>次回、第3回アクションプラン推進委員会は9月下旬を予定します。そこで分野別計画素案の第二次修正案、今日の第一次修正案、特に意見がないと伺っておりますが、こちらでもう一度精査をして、もし修正があれば、第二次修正ということになりますので、第二次修正案として皆さんにご報告したいと思えますし、全体的な冊子のイメージについて説明をする予定です。</p> <p>また、地区別の計画については、南区社会福祉協議会の横山補佐から今後の予定等お知らせがありましたが、追加の開催報告並びに座談会が終了している地区が出てくると思えますので、あと、地区別計画</p>

	<p>がある程度まとまった地区については、その段階で見ていただくこと としたいと思います。地区別計画については、既にコロナの影響で予 定していた座談会が延期になった地区もございますので、当初12月に 予定するパブリックコメントにつきましては、本庁やほかの区の動向 を見ながら、どのようにするか事務局で協議し、その内容につきまし ては、しかるべきタイミングで推進委員会に説明させていただきたい と思います。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございます。これで全部の議案につきましてご審議い ただきました。全体を含めた中で、何かご質問ありましたら、お願い いたします。</p>
小林委員	<p>9月末の開催というのは、日にちは決まっているのですが、決まっ ていないのですか。</p>
事務局 (星野係長)	<p>9月下旬というところまでは考えているのですが、具体的な日時等 はまだ決まっておりません。</p>
小林委員	<p>もう1か月前なのです。もう8月の半ば過ぎでしょう。9月という とあと1か月ではないですか。なぜ決められないのですか。</p>
事務局 (星野係長)	<p>申し訳ございません。それにつきましては、早急に事務局で調整い たしまして決めたいと思いますので、申し訳ありません。よろしくお 願いいたします。</p>
小林委員	<p>今の段階で、なぜ決めてこないのですか。</p>
事務局 (星野係長)	<p>今日の意見の中身を見ながら、大規模な素案修正等があるというこ とも想定しておりましたので、日程については、こちらの不手際で大 変申し訳ないのですけれども、今日お知らせすることに至っておりま せん。早急に事務局で詰めまして、皆さんにお知らせしたいと思いま す。</p>
小林委員	<p>皆さん、どうか分からないけれども、仕事もあるし用事もあると思 うのです。早くすると言っても、いつするか分からないけれども、予 定がある中の昼間の9時から12時と言われて、できるだけ早めにし てもらわないと予定が立たないし、皆さん予定があるので、その日に 来られないのに無理して来る人もいると思うのです。ですから、もう少 し委員に気遣いをしてもらったほうがいいのではないのでしょうか。</p>
事務局 (星野係長)	<p>ありがとうございます。今のご意見をいただきましたので、今後、 そのように心がけたいと思います。</p>
田辺委員長	<p>事務局で早急に詰めた中で、次回会議の開催予定の案内をお願いし ます。</p>
	<p>ほかに何かございますか。ないようであれば、すべての分野別計画</p>

<p>事務局 (片桐補佐)</p>	<p>の素案、地区別計画について追加報告があるとのことでした。</p> <p>本日の全議案も終了いたしました。全体をとおして、今言ったように、質疑もありませんでした。ほかにはないようですので、会議の進行を事務局にお返ししたいと思います。つたない司会でしたが、ご協力ありがとうございました。これで司会を終えさせていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>長時間にわたりまして、ありがとうございました。</p> <p>今日いただきましたご意見を参考に、今後のアクションプランを推進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>これで予定していたものはすべて終了となります。大変ありがとうございました。気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p> <p>・・・・閉会・・・・</p>
-----------------------	---